

Special Edition ** 伐って使う 木のエネルギー



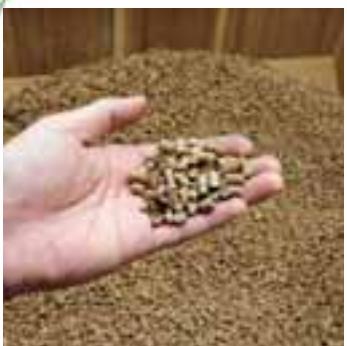
エコハウス(山形市)ではペレットボイラーを見学しました



軽トラに積んで寒河江市のペレット工場へ

特集2

伐って使う 木のエネルギー



もりーな天童(天童市)ではペレットストーブについて教えてもらいました



碎かれた木が成形されて
ペレット製造機から
ムニュッとペレットが出来る



軽トラに積んで寒河江市のペレット工場へ

ペレット工場の阿部さんから
案内してもらいました



山形市八森のスギ林
植えられて約30年。成長するにつれて
だんだんと隣の木との間隔が狭くなり、満員電車の状態。
このままだと林全体が弱ってしまいます。



間伐体験(森の手当て)
木の成長に合わせて間伐することが
森林の成長には必要です。



参加者の声

- * 木が倒れる時は凄い迫力。その後1mぐらいに伐ったのですが、見た目以上に重くて運ぶのが大変でした。
- * 体力が無いので不安でしたが、みんなで協力しながら楽しく取り組みました。
- * 木を伐るところから利用するまでの工程を実際に体験したこと、凄くわかりやすかったです。
- * 環境によいことをしたうえにエコポイントも貰えました。続けて参加したくなりました(笑)
- * ペレットストーブに興味があつて参加しました。木質ペレットの製造工場やペレットストーブの展示場を見学できて勉強になりました。



木を伐ることは環境に悪い?
いえいえ、そんなことはありません。

日本のスギ林は、伐って使ってまた植えることで元気が保たれるのです。

多くの木は、一般的に建築用材として使われていますが、エネルギー源としても脚光を浴びています。山形でも地域レベルで“伐ってエネルギー源として使う”仕組みづくりが広がっています。

特集2では、山形市でこの仕組みづくりに取り組んでいる団体を紹介します。



NPO法人
環境ネットやまがた
安孫子 秀人さん

平成16年から山形県地球温暖化防止活動推進センターに指定され、地球温暖化防止の普及活動をはじめとする環境保全活動を展開。

地域の団体と連携して、森林資源を有効に活用する地域循環システムをつくり、地域の活性化を目指したモデル事業を展開中。

やまがた緑環境税活用事業
「県民みんなで支える森・みどり環境公募事業」実施団体。

山形ペレットエコポイント

環境ネットやまがたでは山形ペレットエコポイントの発行も行っています。

山形ペレットエコポイントとは、間伐などの森林保全活動に参加したり木質ペレットを使うことで一定のポイントが得られ、農産物や化粧品などの商品と交換できる“地域通貨”です。

